



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003

8

2003-2004 GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER No.2

2003. 8. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
会員増強にご理解を	2
ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い	2
2004年待望の国際大会がいよいよ大阪で開催！	3
地区委員会活動計画	4
R I 予算について・R I 会長候補者募集	15
全国に千歳の観光をPR！	15
ブリスベンで確かめ合った家族の絆	16
米山功労者表彰が新しくなります！	18
ハイライトよねやま41	20
新入会員のご紹介	21
文庫通信・訃報	22
掲示板	23
地区カレンダー	24



今こそ地球のために



RIテーマ
「手を貸そう」

2003～2004年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会

10月24日(金)・25日(土)

場 所 / 千歳市民文化センター
記念懇親会 / 千歳全日空ホテル

- ・ 記念ゴルフ大会 10月23日 (木)
シャムロックカントリー倶楽部
- ・ 記念囲碁大会 10月5日 (日)
札幌市：アスティ45

ホストクラブ 千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ

ガバナーメッセージ



会員を増強しよう!!

ガバナー 佐藤 秀雄

今月は会員増強月間です。日本は34地区ほとんどが会員を減らしています。企業は経済不況により奉仕活動を支援する余力を失いつつあります。若者は企業の戦力として重視されボランティアに注ぐ時間を失っています。その結果クラブは退会防止に意を注ぎ、結果として高年齢で構成するというクラブが続出し組織としては好ましくない現象が日本のロータリーに生じています。

R Iは各地区に会員増強のためのモデルクラブを推奨するよう要請し、このモデルクラブがどのように会員増強を図ったかを調査し報告するようであるが期待して良いのだろうか。そもそも会員増強は組織を防衛するため必要欠くべからざるものと思うが、増強するための手法ではなく組織の本質を解き理解させ、そして友人、知人、仕事仲間に参加してもらうことが大事ではないかと思うのだが…。

私は7月最初の公式訪問を鹿野文男第10グループガバナー補佐、今均第11グループガバナー補佐をリーダーとする11クラブ（函館方面）を訪問して来た。両グループ

は、年度始めにもかかわらず各クラブの会長幹事と綿密に調整しクラブの事業計画並びに会員増強の計画目標をしっかりと建て、この目標に向かって前進することを報告された。そして私が特に印象に残ったのは11クラブがほんの少しの会員減少ですんでいること、何より感心したのは各ガバナー補佐のもと11クラブの会長幹事を中心として会員相互が心をつなげてロータリアンファミリーを構成していることであった。このようなグループが存在する限り日本のロータリーは大丈夫前進拡大するとの確信を得たのである。函館には函館の文化がある。歴史と伝統と人情味溢れる情熱がそこにあった。海運業が衰退したとはいえ最初に栄えた蝦夷の地は昔日の耀きを少し失ったかに見えるが南北海道の観光地として復活、多くの観光客を集める函館の底力を見た思いがした。

函館ロータリアンがんばれー!!



会員増強にご理解を

地区会員増強委員会

委員長 小林 博 (札幌北RC・PG)

今月はロータリーの会員増強月間である。当然のことながら会員の数が増えれば嬉しいし、減れば寂しい。

ただ、会員増強の根拠を十分議論することなく増強、増強という、要するに金がほしい為に会員を増強せよというふうにもとられてしまうかもしれない。事実、声高の会員増強を繰り返し訴える背景には、会員減はロータリー組織の衰退につながるなどの危機感があるとも言われる。

でも、極論はさておき、ここで大切なことは会員相互の議論と認識の深まり、さら

には信義の醸成とロータリー精神の昂揚に他ならない。要するに、ひとり一人の会員自らがロータリーの心に目覚め、良きロータリアンとして行動していくことである。

加えてやはり数が欲しい。言うまでもないことだが「数は力」であり、当然会員増強によって親睦の輪が広がるだけでなく、そこから生ずる財政的経済的余裕はその地域社会のより大きな貢献に繋がるであろう。だから会員増はロータリーの力の源泉として、やはり必要不可欠なのである。会員諸子のご理解とご協力をいただけたらと思う。

2005～2006年度

ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 佐藤 秀雄
地区ガバナー指名委員長 森 本 正 夫

2005～2006年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、10月10日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

参 考

- 国際ロータリー細則第13条 (ガバナーの指名と選挙)
- 国際ロータリー第2510地区、地区ガバナー指名委員会規定(1998～1999年度地区年次大会決議第9号)

「2004年待望の国際大会がいよいよ大阪で開催！」

2004年国際大会は下記の通り開催されます。日本では26年ぶりの開催となります。是非参加しましょう。

●開催日時、会場

開催日：2004年5月23日(日)～26日(水)

(大会前プログラム5月20日(木)～)

会場：大阪ドーム(開会式、本会議など)

大阪国際会議場(プレコンベンションなど)

リーガロイヤルホテル(友愛の家など)

プログラム(予定)：

- 5月20日(木) 午後 登録開始
- 5月21日(金) 終日 プレコンベンション
(国際研究会等)
- 5月22日(土) 終日 友愛の家(5月26日まで終日開催)、プレコンベンション
終日 ホスト主催京都デー
夕刻 ホスト主催ウエルカムイベント
- 5月23日(日) 夕刻 開会式
(オープニングイベント)
- 5月24日(月) 午前 第2本会議
午後 討議とワークショップ
夕刻 ホストホスピタリティの夕べ
- 5月25日(火) 午前 第3本会議
午後 討議とワークショップ
夕刻 ホスト主催パークフェスタ
- 5月26日(水) 午前 第4本会議
夕刻 閉会式
(クロージングイベント)

●参加登録方法

登録書式一式は、RI本部より直接各RCへ送付される予定です。その登録用紙に各自ご記入の上、登録料を添えてクラブへお送りください。クラブはまとめた登録用紙と登録料を日本事務局へ送付ください。

日本事務局は、登録用紙の記載内容と入金を確認し本部へ送付されます。

*登録料

登録料	2003年 12月15日まで	2004年 3月15日まで	当日登録
・ロータリアンカップル	US\$400	US\$450	US\$500
・ロータリアン ・ゲスト ・19歳以上	US\$300	US\$325	US\$350
・ローターアクト ・財団学友 ・奨学生	US\$60	US\$80	US\$100
・18歳以下のゲスト ・YE ・インターアクト	US\$20	US\$30	US\$40

*登録料支払は、ロータリーレートによる円建てとなります。

●オン・ツー大阪委員会の設置

2004年国際大会(関西)の皆さまへの参加促進をお願いする意味で全地区へ「On to Osaka委員会」を設置いただきました。これからも地区ガバナー事務所、On to Osaka委員会を通して皆さまへ国際大会(関西)の情報を発信していきます。

●国際大会事務局

2004年国際大会に関するお問い合わせは下記までお願いします。

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-5-28

久太郎町恒和ビル4階

電話：06-6258-0561

FAX：06-6258-0562

Eメール：sec@ri2004.com

ホームページ：http://www.2004kansai.jp



地区委員会活動計画



RI 100周年記念委員会

委員長 岩城 秀晴
(札幌南RC・PG)

来る2005年2月23日はRI創立100周年を迎えることとなります。RIでは、100周年記念事業の計画を進めております。

そこで、本地区においてもこれについての計画を検討して、未来への夢を果たしたいと考えております。

第一に、全RCが2005年2月までに新しい地域社会のプロジェクトを考慮して欲しい、そして地域社会に奉仕活動をして欲しい旨のことを、RIで要望しております。

第二に、会員の増強。

第三に、会員1人当り米貨100ドルのロータリー財団への寄付を要望しております。

第四に、ポリオ・プラス計画による撲滅運動の展開。

なお、RIの計画では2005年2月までに地域社会のプロジェクトをやり遂げるように要請しております。

以上の要項を中心に推進して参ります。この外に2005年の国際大会はシカゴで6月19日～22日の開催予定です。これも大きな大会となりますので、大いに楽しみながら事業の遂行に参加しましょう。



オン・ツー・大阪委員会

委員長 岩城 秀晴
(札幌南RC・PG)

いよいよ平成16年5月23日に開催されます大阪には当地区の皆様が振るってご参加戴けるものと期待致しております。特に、日本で開催されるのは1978年の東京大会以来なかったのですから。大阪の会場は大阪ドームのほか、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルとなっております。5月23日(日)から始まり、5月26日(水)の21時30分の閉会式で終了致します。開催地であります2660地区の方々及び周辺地区の方々は大変張り切っております。日本全地区から25,000人位を参加予定に考えておりますので、本地区も

700名位は参加して頂きたいと計画しております。例えば、本地区は72クラブありますので、1クラブ10名としても700名には達すると思えます。会員の方のみならず、ご家族でご参加するのも家庭の絆を深めるには格好のチャンスと考えられます。そして、大阪においては「北海道ナイト」もこの計画に入れて楽しみを深めてみたいと考えております。また、この大会に並行して青少年交換や国際研究会が開催される予定になっております。国際大会は地区大会とは違った国際色豊かな楽しめる大会であります。是非、来年の大会には地区の方々とお互に交流を致しましょう。

文献資料室

委員長 関堂 勝幸
(札幌東RC)



国際ロータリー、国内のロータリークラブ等の情報もいまやITの進化にともなって書籍、テープ等でのクラブ活動委員会での資料として必要が少なくなりつつあります。しかし当委員会は地区内のクラブ活動の歴史を保管している関係上各委員会の委員長にとって一見する書類がただであると存じます。従いまして書籍の整理をし、各クラブに紹介できるようにしていきたいと思えます。

目標

1. IT委員会の協力をえて国内外の活動とともに地区での活動と新しい書籍、テープ等の貸し出しリストの紹介をする。
2. 貸し出しに便利な又は各クラブのプログラムに利用しやすいようにビデオ、CD-ROMに整理していきたい。



クラブ奉仕委員会

委員長 羽部 大仁
(札幌南RC)

佐藤ガバナーの地区運営の目標とクラブ運営の目標に強調されている事項を地区委員会として如何なる活動を展開するべきか、

その具体策を模索する。

- ① 地区目標として、情報ネット作りが上げられている。本年度、地区委員会としては地区と地区委員会との情報をネットで交換する。
- ② クラブの運営目標としてガバナーが掲げられた、「ロータリアンの意識改革」をテーマに新しい会員には「ロータリーとは」について効果的に情報を提供する。
- ③ 古い会員には従前のままと踏襲するのではなく新しいプログラムに挑戦して、クラブの活性化を図る。
- ④ 従来の例会のあり方をがらりと変えてみるとか、担当委員会を決めて、身近ないろいろな問題についてワークショップを開催する。
- ⑤ 各クラブが地域に根ざした奉仕活動を探してみることに、新しいプログラムに積極的に取り組むために、地区委員会として協力したい。(卓話を含め、楽しい例会のあり方など)



職業奉仕委員会

委員長 富岡 公治
(札幌西北RC)

第1 活動方針

1. マジリアベR I会長の「手を貸そう」「あなたの天職に手を貸そう」の方針に応え、ロータリアンの根幹ともいべき職業奉仕の理念の普及及び実践に努める。
2. 地区内各クラブ及び会員個人に職業奉仕の理念に合致した具体的な活動計画を企画するよう奨励する。

第2 活動計画

1. 地区委員会においてロータリー創立以来の職業奉仕理念の誕生及びその後の経過と現状に対する勉強会を熱心に取り組む。
2. 10月の職業奉仕月間を中心として地区内クラブから卓話の要請があった場合、地区委員会の各委員を分担して派遣実施する。
3. 地区委員会としても、地区内クラブ及び会員に具体的な職業奉仕活動例を紹介し援助し、各クラブの職業奉仕活動が活発になるよう努力する。
4. 地区職業奉仕委員会として、ロータリアンの専門職種を活かしたロータリアンの講師による「ロータリー市民講座」を今年度も開催実施する。



社会奉仕委員会

委員長 対木 正文
(札幌西RC)

各クラブが地域のニーズに答えた社会奉仕活動をされている事に心から敬

意を表します。

8月末日までに、社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同の、クラブ社会奉仕委員長さんを対象とした「社会奉仕に関する意見交換会」を地区内5ヵ所で開催いたします。

この意見交換会を通し、年度始めに他のクラブの奉仕活動を知ることにより、地域社会が真に求めている奉仕活動を幅広く模索し、活動のマンネリ化を防ぐと共に、クラブが抱える諸問題について意見を交換いたしたいと思ひます。

また、昨年度設置された小委員会「家庭奉仕委員会」と今年度新設された「子ども奉仕委員会」の設立主旨をお互いに共有し活動できれば幸いです。

特に「子ども奉仕委員会」の活動はロータリアンの職業と職業を通して知り得た人生観を、次代を担う子ども達の目線において伝えるという奉仕活動であります。まさに今日、地域社会や教育界からロータリーに求められており、ロータリーだからできる奉仕でもあります。

また、地区社会奉仕委員会は今年度11月29日に、「ロータリー市民フォーラム」を開催したいと考えております。テーマは社会の成熟化、社会の不安定化と共に増加し潜在化している、「児童虐待」の問題を取り上げます。この問題は1999年国際ロータリー理事会が決定した、クラブおよび地区に考慮を促す奉仕の機会に関する項目9つの中で最初に出てくるものです。皆さんと一緒に考え、この問題にロータリーがどのようにかわり、どのような奉仕活動が地域社会と一体となることができるかを考えたいと思ひます。基調講演には、児童虐待の駆け込み相談電話「1134」でタイの社会に広く知られ献身的な活動をしているパベナ財団の理事長パベナ女史です。

今年度も各クラブが地域のニーズに合った実りある社会奉仕活動をしていただくためにクラブと同じ目線で地区委員会も努力して参りますのでよろしくお願ひいたします。



家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬三
(札幌南RC)

今期の家庭奉仕委員会の活動は、現在日本の家庭の抱えている、悲惨な状況を克服するために、今私たちが何をしなければならぬかについて、様々な機会を捉えて訴えていくことを焦眉の課題としました。そのため以下の方針を立てました。

1. 勉強会を最低2回以上行う。

拓殖大学の相馬教授には、食の問題。前北星大学の相場幸子教授には、子供に対する親の関わり方について、お聞きする。

宣伝は、ガバナー月信だけではなく、直接、社会奉仕委員長や会長、幹事に詳しく内容を伝えて、働きかける。又、インターネットも活用する。

2. 各クラブの活動の状況を月信に紹介して参考にして頂く。

少なくとも委員は、所属クラブに働きかけて、家庭奉仕について意識啓発を行う。

3. 前年度第4・第5グループIMの家庭奉仕に関するビデオを各クラブに活用して頂く。

4. 親業訓練が効果的であることが分かったので、土橋芳美先生の協力を得て、親業訓練初級コース（6時間）を実施して頂くように各クラブに働きかける。

5. その他、地区社会奉仕委員会主催の各グループ内の連絡会に必ず委員の誰かが出席する。

6. ワークショップなどに積極的に参加して、啓蒙に努める。

子ども奉仕委員会



委員長 米山 道男
(札幌北RC)

近年、小中学校に総合学習の時間が設けられ、外部講師による授業や子ども達の事業所訪問などが行われていますが、学校では依頼先探しに苦労しているとの報道があります。一方、これに応えようとする動きが全国のロータリー地区で展開されつつあります。

このような世の趨勢に応じて新設されたこの委員会の今期の使命は、「会員が小中学校で授業をする」、「会員

の職場で小中学生が見学や実習をする」という活動のお膳立てをすることです。そのため、既に昨年10月から多くの会員と共に準備を進めてきました（前期ガバナー月信3月号19頁、5月号12頁、6月号13頁、7月号29頁参照）。

また、地区全体に及ぶ活動となるため、前期ガバナー補佐全員にお願いして、各グループから委員を推薦していただきました。

今期は、次の順序で活動を進めたいと考えています。

(1) 地区内5カ所での意見交換会の実施

まず、この活動を会員各位に理解していただき今後の御協力をお願いするために、7月26日の函館を皮切りに、8月には2日滝川、9日苫小牧、23日小樽、30日札幌と各地に出向き、社会奉仕・家庭奉仕両委員会と合同で、会員各位との意見交換会を開催させていただく予定です（今期ガバナー月信7月号15頁参照）。

(2) 協力者名簿の作成

その後で、9月から11月にかけて、会員各位の御協力のもと、「小中学校で授業をして下さる会員」と「職場に小中学生を見学や実習に招いて下さる会員」の協力者名簿を作成します。

(3) 各地の教育委員会への協力依頼

名簿完成後、各クラブ代表と当該グループの当委員会委員とで、名簿を携えて市や町の教育委員会を訪ねて理解と協力をお願いしていただきたく思います。一つまたは複数のクラブで一つの教育委員会と対応していただきたいと考えています。

(4) 各小中学校との連絡調整

その後で各クラブの担当委員会が各小中学校へ出向いて、名簿を届けて説明していただき、今後の連携の基礎を作っていただきたく思います。

(5) 会員による授業と小中学生による見学・実習の実施

そして、多分来年4月から、学校からの要請に応じて、小中学生との実際の関わりが始まることになると思います。

会員各位の、この活動への御理解と御協力を心からお願い致します。



国際奉仕委員会

委員長 青木 功喜
(札幌東RC)

国際奉仕委員会は親睦活動、友情交換、世界社会奉仕の3委員会から成り立っている。これらの横の連絡は勿論、国際奉仕に関連する各委員会とも連絡を取りながら活動して行きたい。又国際奉仕はわが地区だけでなく世界の各地区或いはロータリーの本部あるいは日本の事務局との窓口になりながら、国際的視野で佐藤年度の活躍をすすめる予定である。周年記念を迎えるクラブにおいては世界奉仕に対する計画をたてていただきたい。また世界理解月間には地区委員会に声をかけて下されば喜んで協力したい。

具体的な活動は各小委員会の活動計画を参照いただきたい。



世界社会奉仕(WCS)委員会

委員長 土倉 裕之
(札幌東RC)

これまで「顔の見える援助」を目指してやってきましたが昨年度に入って芽が出てきたように思います。特に2002年度より各クラブのWCSに対する取り組みが変わってきました。従来は地区で用意した活動に参加する方式の活動でしたが、クラブ独自の活動計画を組みその補助を地区に要請するという方式です。以下の活動はすべてクラブ独自の活動に地区が補助をしたものです。

コロンボロータリークラブへ中古ベッド寄贈(千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ)・インドネシア図書館援助(新札幌ロータリークラブ)・ミャンマー孤児院資金援助(札幌東ロータリークラブ)・コロンボロータリークラブへ中古ベッド寄贈(札幌南ロータリークラブ)・Wheel Chair Foundationに車椅子資金寄贈・パベナ基金に資金援助(岩見沢東ロータリークラブ)

今年度は上記のような各クラブの活動の補助(インドネシア・ジョグジャカルタ市の支援。函館北ロータリークラブ)と、従来通りのタイ・ノンカイ地区への援助(学費援助・飲料水施設設備援助)、および内戦の終結したスリランカ北部(3220地区)の学生に対する通学用自転車の寄贈を柱に活動を行う予定です。WCSはロータ

リークラブの周年事業としても意義のある活動です。周年事業を計画されているクラブには是非ご検討賜りますようお願い申し上げます。

今年度の「手を貸そう」にマッチした活動を行い、皆で笑顔を見てみませんか。



友情交換委員会

委員長 金井 重博
(札幌南RC)

1. 当地区クラブと海外、姉妹、友好ロータリークラブの交流促進
2. 当地区と海外地区との新規交流先推進
昨年、アメリカのGSE事業で当地区との交流があった、アリゾナ州地区との可能性を打診しており、これについても、継続して交渉します。第5010地区はアメリカ、カナダの北部とロシアの極東地区を含む地区です。2003年ブリスベンでの世界大会時に三地区(アリゾナのフィリップシルバードG、アラスカのステイブ吉田P DG、当地区の石垣P G、青木国際奉仕委員長及び私)とで懇談し基本的に前向きに交流を推進する事を確認し、後日文書で確認の予定である。
3. 大阪国際大会での北海道ナイトをオン・ツー大阪委員会の下で企画、推進。
4. 継続案件の国別勉強交流会
小林ガバナー年度で懇談し、諮問委員会から当委員会事業内容(国別部会)の再検討をする様要請された件につき、国別勉強交流会の名称をもって国際奉仕委員会を主委員会とし当委員会は之をサポートしながら継続して推進する。
佐藤ガバナー執行部での合意、及び諮問委員会の了承のもとで、地区内各国際奉仕委員会の協力を得て地区会員や地元、市民、町民また在住外国人の為小さな親切運動を実施する。
5. 地区国際奉仕委員会に属する他の委員会への協力



ロータリー財団委員会

委員長 森本 正夫
(札幌西北RC・PG)

前ロータリー財団委員長の故富山先生からバトンを引き継いで、3年目になります。この数

年間は、米国と日本の経済不況がロータリーにも大きく影響し、地区の会員数が減少し続けており、先行きが懸念されるところです。しかし、状況が好転するのを座して待つのではなく、ロータリーの創設の原点に立脚し、私たちとしてこれまで以上にできることをしなければなりません。つきましては、その手始めとして、各クラブの増強拡充を図りロータリーの各種活動に支障をきたすことのないよう、今後も会員の皆さんに資金面でのご協力を願う次第です。

本年度の財団の各委員会の活動につきましては、それぞれの委員長をはじめ、委員の皆さんがこれまでも増して献身的なご活躍をしてくださるものと確信しております。

「3度目の正直」と言いますが、3年目には明るい兆しを是非ともつかみたいものです。以前にも申し上げましたとおり、故富山先生の足跡を継いで財団の活動を次の世代へとつないでいきたいと考えておりますので、今後とも引き続きご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。

財団増進委員会



委員長 大村 孝男
(千歳RC)

ロータリー財団への寄付のうち、年次寄付に関して、2001年の規定審議会で西暦2005年までに1人当たりの寄付を100ドルにする決議が採択されました。ジョナサン B. マジニアベRI会長からも、本年度および次年度において、1人当たり100ドルの寄付を達成するよう要望されています。また、ロータリー財団の活動資金が不足している現状から、恒久基金寄付についても年次寄付同様、増進の必要に迫られています。さらに、RIでは100周年を迎える2005年までにポリオの完全制圧を目指しています。

以上のことから、活動計画を以下のとおり定めました。ご支援よろしくお願い申し上げます。

1. 年次寄付の寄付率の向上化と、1人当たりの寄付の絶対額を増やす方法。
2. ロータリー創立100周年記念祝賀に向けて、\$1,000以上の恒久基金寄付の奨励。
3. 遺贈友の会の紹介。
4. \$10,000以上の大口寄付と表彰制度の紹介。
5. ポリオ撲滅のための募金活動。

国際親善奨学金委員会



委員長 土橋 信男
(札幌南RC)

昨年に引き続いて委員長を務めます。継続の委員は、丹羽祐而（札幌手稲RC）、松下文芳（江別西RC）、瀧川哲夫（札幌手稲RC）、高橋麗秋（札幌北RC）です。そして、新委員として、星野恭亮（札幌東RC）、大坂忠（札幌大通公園RC）の二人を迎えました。

本年度は以下の活動を行うために、年6回程度の委員会を行う予定です。

まず、2004-05年度国際親善奨学生の選考、およびオリエンテーションで、これが本委員会の最大の仕事です。7月に合格者を決定して、これから一年間の中で6回のオリエンテーションが行われると思います。

次に、2005-06年度国際親善奨学生の募集をします。募集ポーションを行う予定です。次号の月信には合格者を報告できポスターは好評な金井英明札幌南クラブ会員の絵を背景に使わせていただく予定です。募集は来年1月中旬に始まります。

各クラブでの受付締め切りは来年4月中旬の予定です。

昨年度は、志願者の面接を必ずしていただくようにということで、お願いしておりましたので、全志願者が面接を受けて推薦されていました。本年度にもこのことについては必ず行っていただきたくお願いします。

以上は、当地区からの派遣のプログラムですが、他方で受け入れについては本地区からの寄贈プログラムとして、第5010地区ロシアからの3ヶ月文化研修国際親善奨学生の受け入れをします。今年度の奨学生は以下の二人です。札幌大通公園クラブと、札幌セントラルクラブがホストクラブとなっていただきました。滞在期間は8月1日から10月末までです。

エレナ・アガフォノーフア（女性、23歳）ウラジオストック在住（札幌大通公園クラブ）

ピサレフ・パーウエル（男性、24歳）カムチャッカ在住（札幌セントラルクラブ）

また、本年度は、グアムからの国際親善文化奨学生の受け入れ依頼があり、現在準備中です。

なお、本委員会が果たすべき責任が最適に果たせるためのプログラムはどうあるかについて、委員会として検討していく予定です。



G S E 委員会

委員長 山名 善久
(札幌南RC)

G S E プログラムは、受入と派遣を2年に跨がって交互に行うことになり、前年度はフィリピンの3830地区からチームを受け入れました。今年度は3830地区へ当地区からチームを派遣します。また、次年度のプログラムに向けての準備が本格的に始まります。

以下は、今年度の主な活動計画です。

- (1) R I 3830地区へ派遣するチームメンバーの研修。
派遣時期：2004年2月18日～3月24日（35日間）
- (2) 2004～2006年度交換相手地区：3350地区（タイ）
 - ・2004～2005年度受入準備
(受入グループ、受入世話クラブ)
 - ・2005～2006年度に派遣する団員募集及び決定
 - ・2005～2006年度当地区派遣チームリーダー選出及び決定
 - ・2005～2006年度当地区派遣チームメンバー研修
- (3) その他
G S E プログラムに関わる諸問題の検討
 - ・受入、派遣日数の変更（35日間から28日間）
 - ・受入、派遣費用の検討
 - ・G S E 事業報告書制作
 - ・その他



財団学友委員会

委員長 鍋谷 操子
(函館東RC)

1. 委員会の目標

- (1) 財団学友会の活動に対する助言と支援。
- (2) 財団学友のロータリー活動への参加促進とクラブの財団学友への理解推進。
- (3) 財団学友会の広報。

2. 委員会活動計画

- (1) 委員会の開催
年間4回の委員会を開催する。
第1回：7月開催 活動計画と担当確認（財団学

友会役員参加)

- 第2回：9月開催 地区大会での財団学友参加プログラムの具体的な確認（G事務所地区大会担当者、財団学友会役員参加）
 - 第3回：2月開催 財団学友帰国報告会、地区協議会、地区財団セミナーでの役割について（財団学友会役員参加）
 - 第4回：6月開催 新旧委員合同会議－活動引継、懇親会（財団学友会新旧役員参加）
- (2) 財団学友会の役員会への参加。（財団学友会の要望に応じて参加し、ロータリーへの理解を深める）
 - (3) 財団学友会総会への参加。（今年度以降の財団学友会総会は地区大会時に開催することとしたので財団学友会総会用の会場を考えなければならない。）
 - (4) 財団学友会賛助会員の賛助金拠出を推進。（昨年度追補作業を行った地区R財団学友名簿を地区内各クラブへ送付し、財団学友の存在意義を深めると共に賛助会員としてのご支援をお願いする。）
 - (5) 学友ニューズレター発行の支援。
 - (6) 財団学友の地区大会への参加推進。（財団学友会総会の開催を地区大会に合わせて開催し、多くの財団学友が地区大会に参加するように推進する。）
 - (7) 帰国学友報告会の開催（今年度派遣G S Eチームが帰国してから開催することとし、2004年5月中旬に計画する。各クラブへ参加を呼びかけ、財団奨学生とG S Eチームの成果を披露し、交流を深める。）
 - (8) 昨年度と同様にR財団月間には財団学友の卓話を地区内クラブへ斡旋する。



新世代委員会

委員長 奥貫 一之
(札幌東RC)

Enjoy Rotary! 何年前のR I 会長のターゲットだったが覚えていませんが私は今もこの単純明解な標語が好きで、ロータリーの本質を現していると思っています。「楽しくなければロータリーでない」とよく先輩ロータリアンに云われます。的をえたお言葉だなあとしみじみ思います。

ロータリーが様々なジャンルの奉仕活動であるという大前提が忘れられ、メンツにこだわり過ぎた行きがちが時々生じているのを見て嘆かわしく思っております。私達の委員会は新世代への奉仕がメインテーマであっ

て、4つのテストの4番目「皆んな（新世代）の為になるかどうか」という事を原点に行動してゆく新年度でありたいと考えております。

具体的には、ロータリープログラムの中で現在縦割りになっている新世代関係委員会の活動を基本はそのままにして、歓送迎会等他のロータリアンが来て下さっても支障のないプログラムには、関連委員会の委員長さんに招待状（会費はいただく）を出して、可能な限り新世代関連ロータリアン同志の中広い交流が出来る様に願っております。

又、インターアクトと留学生、Rotexとローターアクト、ローターアクトと米山奨学生・財団奨学生等年代層の近い新世代同志の交流の場を積極的に作ってあげていただきたいと切望いたします。9月に行われる「ライラセミナー」がその集大成になりますが、それ以外にも各地で折にふれ「小さなライラの集まり」が実施されたら素晴らしいと夢見ているので宜しく願い申し上げます。



インターアクト委員会

委員長 堀田 昌資
(札幌東RC)

本年度インターアクト委員会は、佐藤ガバナーの指導のもと、スポンサーロータリークラブ・クラブ会長・インターアクト委員会と連携を密にして、地区内インターアクトクラブのユニークな活動と活性化を図るべく、第2510地区ローターアクト委員会、青少年交換委員会、ライラ委員会、関連して、ロータリー財団、米山記念奨学委員会との連携も視野に、新世代活動に積極的に取り組む1年と考えております。

青少年との共同奉仕プロジェクトを通じて、ロータリアン側の熱意と関心が理解され、ロータリアンとしての貴重な役目を果たすこととなります。新世代活動に関心あるロータリアンの積極参加を歓迎申し上げます。

〈地区主導の年間行事計画〉

- ① 第2820地区インターアクターとの交流会。7月23日。サッポロビール博物館見学と歓迎会（ジンギスカンパーティー）
- ② 研修旅行。8月3日～5日（2泊3日）第2820地区インターアクター（茨城県）との交流と見学。（筑波宇宙センター）
- ③ 「RYLA」への参画。9月13日（NTTセミナーセンター）ジュニアクラス。

- ④ インターアクト年次大会。6月（ホスト・札幌第一高等学校）一札幌RC。
- ⑤ 世界インターアクト週間祝賀行事・祝賀表彰の奨励。11月5日を含む週（11月3日～9日）
- ⑥ 地区委員会開催。顧問教師と共に連携を図ります。

※顧問会議・随時開催。

2003～04年度第2510地区インターアクトクラブ地区代表一札幌第一高等学校インターアクトクラブ会長 熊野まなみ



ローターアクト委員会

委員長 柳 孝一
(札幌南RC)

現在地区内で12のクラブ、約150名のローターアクターが提唱クラブの指導の元、活動しています。

RIのテーマ「手を貸そう」を実践し、ローターアクトに手を貸し、ともにロータリアンが活動できるようサポートしてまいります。

地区内ロータリアン皆さん全員にローターアクトを知ってもらうことを最重点に。

まず、提唱ロータリークラブの会長・幹事、ローターアクト委員会、会員の皆さまと連帯を保ち、地区内ローターアクトクラブの活発な奉仕活動と、会員増強推進を目標に、提唱クラブだけではなく、広く地区内ロータリークラブにローターアクトクラブの活動を理解していただき、新しい事業を展開することを目標にいたします。

【地区行事への参加と協力】

- ①ローターアクト地区大会の実施の協力と参加
- ②ローターアクト地区協議会の実施の協力と参加
- ③アクトクラブ主催セミナーの実施の協力と参加
- ④新世代委員会行事への参加
- ⑤海外研修の実施の協力と参加
- ⑥当地区地区大会への参加とローターアクト会員の参加推進

【クラブ運営に関する要望】

- ①クラブの会員増強と体制強化
- ②提唱クラブローターアクト委員会の指導力強化
- ③ロータリークラブとローターアクトクラブの合同例会、合同事業の実施
- ④ローターアクト週間（3月13日を含む週）のPR（最初に誕生したローターアクトクラブがRIに正

式に加盟認証された日でローターアクトクラブと提唱クラブが合同で事業を行うものです。)

【その他】

- ①第2回北海道ローターアクト交流会（当地区のホストで9月開催）の全面協力とロータリアンの登録推進
- ②当地区で開催される全国研修会の参加と実施協力
- ③休止中のクラブへの再開の働きかけ
- ④未提唱クラブへ新クラブ設立の働きかけと共同提唱の提案
- ⑤提唱クラブ委員長会議を年4回程度開催



青少年交換委員会

委員長 野澤 幸平
(岩内RC)

奉仕という表情は……明るさと笑顔でしょうか。

青少年交換委員会事業は日本の将来への“人財”を育てるといふ大きな夢。10年、20年後を見据えた世界との交換プログラムを会員減少、経済環境との理由で縮小するのでは寂しい様な気がします。委員会予算も3年前に比べて約300万円の減少。昨年度より約120万円の減額。

しかし、何とか知恵を出し合い、汗をかきながら派遣を希望される学生の“夢”実現の為に皆で頑張りたいと思っております。

20年前、GSEの1員としてアメリカに。委員会に参画して驚きを感じたことは1人、1人の学生にこんなにも多くのロータリアンが係わり、皆様方の御支援を頂いていたことを知りました。赤面です。委員に成っていなければ知らないままにずっと生活をしてきたかも知れません。

その運命？に感謝しながら派遣&受入学生にとってより意義のある交換プログラムとなるよう精一杯応援するつもりです。「危機管理」への取り組み、各種「手引書」の作成等についてはクラブ担当者、クラブカウンセラー、ホストファミリー、ホスト高校関係者の皆さんに、当地区自慢の日本語プログラム講師の方、そして皆様方ロータリアンのアドバイスを頂きたいと思っております。

1年間宜しくお願いします。子供達のより輝く“笑顔”を見るために……。



ライラ委員会

委員長 宮崎 善昭
(札幌西RC)

2002~2003年度よりライラ・セミナーは、ジュニア・クラス（18歳まで）、シニア・クラス（30歳まで）と日程を分離して開催するようになりました。次年度も同様に9月の新世代月間の土・日1泊2日で実施する予定です。

共通テーマは「平和を創り出す」（仮）にしたいと思います。

私たちは、平和を望んでおりますが、なかなか達成できずにおります。それは、物質文明の中で人間の精神的発達が私たちが考えているほど進歩してないからに他なりません。

青年と共に「平和」を単に戦争や紛争の無い状態という消極的な考えでなく、差別、飢え、貧困、疾病のない幸福、福祉、繁栄が保証されている（貧困、人権侵害をなくする）状態という積極的な考え方で考えてみたいと思います。

協議する中で、人間は単に命があるから生きるのではなく、より良く、より平和な生き方をすること自体が生きる目的となることを覚える機会とします。

そして、地球の環境はもう既に戦争には耐えられない局限の状態であり、21世紀の未来を背負う人間にとって平和に生きることが必要条件なのだという認識を広げていきたいと思っております。



米山記念奨学委員会

委員長 竹原 巖
(札幌北RC)

会員に理解が得られる活動を

本年度の米山記念奨学委員会は「米山記念奨学制度」について、会員の多くの方々に理解を深めていただき、出来るだけ多くの方から奨学会にご協力願ひアジアからの留学生に奨学金を通じて援助の手を差し伸べたいと考えております。

そのために前年度に比べ地区委員を3名増員し、ロータリーの目的のひとつである、国際理解と親善に寄与する米山記念奨学制度を支援するため当委員会は下記の活動を計画しております。

1. 米山記念奨学制度について理解を深めるため、出来るだけ多くのクラブを訪問し卓話を実施する。
 - ① 奨学制度の歴史・目的・意義
 - ② 寄付金の内訳（普通寄付金・特別寄付金）
 - ③ 寄付金の免税措置について
 - ④ 表彰制度について
 - ⑤ クラブの米山記念奨学委員会の役割について
2. 奨学生とロータリアンの相互理解を深めるため、積極的に地区行事へ参加を推進する。
3. 奨学制度の理解を深め普通寄付金の1口当たりの増額を推進する。
4. 奨学制度の理解を深め特別寄付金の推進を図る。
5. 委員の増員により委員会活動の充実と活発化を図る。
6. カウンセラーと奨学生の指導教官との交流と親睦を図り、奨学生が快適な留学生活を送れるようサポートする。
7. 奨学生のロータリーへの理解を深めるため、オリエンテーションや親睦会を実施する。
8. 米山学友委員会と連携を図る。

その活動をやり易くし、ロータリー活動の素晴らしさを印象づける役割を持っている。

効果的な広報活動により、地域社会の人々にロータリーに関心を持たせ、そのことが新会員の入会を促すことに繋がるわけである。

また、対外的な効果のみならず、広報活動によりロータリアン個々のより高尚な奉仕への意欲の向上にも寄与するものである。

国際ロータリー、ロータリークラブもまた個々のロータリアンと同じく、広報活動に対する責務を持つものである。

具体的な活動として、報道機関との密接なつながりを以前から指摘されている。出来るだけ、報道機関の代表者をロータリーの会員に迎えることに努力を惜しまないことが必要である。

一般大衆には、現在手軽にアピール出来る手段として、インターネットの利用がある。当地区のホームページはすでに立ち上がっており (<http://www.ri2510.gr.jp/>)、その利用が大事である。当地区にはIC委員会があり、委員長は苫小牧北ロータリークラブの山田信夫会員であり、地区のメールマガジンの配信をしている。

少なくとも当地区の会員は、メールアドレスを登録し、メールマガジンの配信を受けるようにすることが望ましい。委員長山田信夫会員への連絡はメールアドレス：kye00213@nifty.ne.jpである。

私たちは今、広報の時代に生きており、世間ではややもすればロータリークラブはお金に余裕のある人の社交クラブという認識を改めさせ、地域や世界で何をしているかを正しく伝える必要がある。

会員はすべて、広報マンであり、クラブや地区による草の根レベルの広報がもっとも大切なことを意識することが大切である。

個々のロータリアンは、具体的な方策についてどんな小さな事でも良いからアイデアを出し合い、出来ることから速やかに実行に移すことが望ましいものと考えられる。

また同時に、ロータリークラブに対する不利な広報については、積極的措置を執る必要がある。

広報委員会

委員長 丸山 淳士
(札幌真駒内RC)



かつて、ロータリークラブは、宣伝をするべきでないとする意見があった。その根拠は、1923年の方針に示された「ロータリークラブが奉仕活動を選ぶ場合に宣伝をその主たる目標としてはならない」というものである。

しかし、同時に「ロータリーの影響力を拡大する方法として、クラブが立派に遂行した有益な事業については正しい広報が行われるべきである」との記載もあった。

すなわち、ロータリークラブは宣伝のための事業は慎むが、素晴らしい業績は広報すべきであると言う内容なのである。

1970年代半ばの採択では、ロータリーの綱領とプログラムへの理解、評価、支援を育成し、人類へのロータリーの奉仕を広げるなら「良い意味での宣伝、好ましい広報、肯定的イメージは、ロータリーにとって望ましく不可欠の目標です」と現代風書き換えられた。

広報委員会は地域社会の人々からロータリー運動に対する支持を得るために、ロータリーの活動を正しく伝え、



情報委員会

委員長 亀井 敏清
(函館RC)

クラブの情報委員会は会員候補者、新会員、さらに既存会員それぞれに適応したロータリーの総ての情報を提供することでありませぬ。従ってクラブ情報委員会はロータリーの崇高で且つ高度な奉仕哲学とともに100周年を目前としたロータリーの基本理念に基づく組織規定を正しく理解しなければなりません。この重大な任務を効果的に遂行できるよう援助するのが地区情報委員会の務めです。2001年の規定審議会では、ロータリーの基本を揺るがすような組織規定の改正もされております。

このため、クラブ又は会員の中で改正された規定の適用に適切でなかったり、誤解が生じた事例があり地区情報委員会に対しての問い合わせが多くありました。これらを月信をとおしてQ & A方式で回答をしてみました。

Qには規定に対する質問以外にも歴史に関するもの、手続要覧に掲載されていないクラブライフの問題等々あり、組織規定のみでクラブ運営が成されていないことを如実に物語っていることを知ることができました。

今年度は2004年6月に3年毎の規定審議会が開催されます。詳細な情報は月信を通してお知らせする予定です。



I C委員会

委員長 山田 信夫
(苫小牧北RC)

1. 基本方針

I C (Internet Communication)

委員会は、インターネットを介して流通するロータリー関係の情報伝達と、情報交換の手段であるインターネット活用の地区内普及に努める。

2. 活動計画

(1) メールマガジンの配信

RI、RJW (ロータリー・ジャパン・ウェブ) などからインターネットを介して流通する情報および地区内の情報を、速やかにガバナーはじめ地区内のみなさんに直接電子メールで配信する。また、インター

ネット・コミュニケーションの障害となるコンピュータウイルスに関する対策情報なども合わせて配信する。他にホームページでバックナンバーのページを開設する。

(2) 地区ホームページの作成

地区内の皆さんから情報をいただき、いち早く掲載するとともに、各種報告、申請などをいつでも簡単に作成、提出できるようなページの新設を目指す。

(3) メーリングリストの運営

ロータリー活動に関する情報の他、I C化やI T化およびO A化などを含めた情報の、新しい情報交換の手段として設置し、地区内活性化の一助とする。

(4) インターネット活用の普及促進

経済性、迅速性、便利性などに優れた情報交換の手段としてのインターネットの理解と普及に努める。特に、グループ、クラブの活動に対し積極的に協力する。

(5) I T化支援

次の項目について資料、情報の提供などの支援をする。

- ① ホームページ開設 (作り方、各種マーク、テーマロゴ配信など)
- ② メーリングリスト (メールの相互一括配信) の構築
- ③ IM、周年行事などの記録CD-ROM作成
- ④ 事務所のO A化 (会員管理、予算管理、各種資料作成など)
- ⑤ 会報、会員名簿などの内製化



ロータリーの友委員会

委員長 佐藤 公
(札幌北RC)

活動方針

1. 委員会設置2年目の今年度は各クラブのロータリーの友委員会 (雑誌委員会) 委員長とのコミュニケーションをできるだけ図る。

課題は委員長会議たるものをどう実施していくか。イベント的な企画が出来ればと計画を模索している。(例: 月1回「友」を読む会を実施、会員を募集する。親睦会を兼ねる。)

2. RI公式地域雑誌「ロータリーの友」に対しての会員

の意見を吸い上げ、どうすれば会員に興味を持って読んでもらえるか研究をする（研究成果は年度を越えても良いと考える。）

例えば、「友」の購読活用論文の募集、アイデアコンテスト（実例または提案）など。

3. 雑誌月間を中心に委員は各クラブの卓話に向向く。
4. 月信を活用し委員会の活動報告を掲載するとともに、「友」の購読の啓蒙を図る。



補助金委員会

委員長 伏木 忠了
(札幌西RC)

新しい補助金制度が2003～2004年度からスタートします。

1. 新制度は①地区補助金（DSG）、②個人向け補助金（IG） ③マッチング・グラント（MG）の3種類となり、従来のプログラムは廃止されます。
2. 既に4月19日開催の地区協議会に提案されておりますように、このシステムは、ロータリー財団へ、3年前に年次寄付をした金額の内、60%が地区の奉仕活動に活用、この資金を「地区財団活動資金」（DDF）、残りの40%は「国際財団活動資金」（WF）となります。地区の補助金は、DDFの20%を上限とする資金で、新ロータリー年度開始と共に支給されます。
3. 地区補助金（DSG）前期分の申請は7月1日から9月30日まで受付け致します。各クラブから地区社会奉仕委員会経由で、地区ガバナーへ提出、審査委員会で、プロジェクトの内容や、そのクラブの3年前の年次寄付等を参考に、補助金の金額を決めさせていただきますが、画期的プロジェクトには、その枠以外の審査対象と致します。
4. 個人向け補助金（IG）は、発展途上国などで奉仕プロジェクトを立案・実施するロータリーボランティアの調査旅費を支給する補助金です。この補助金は、国際財団活動資金（WF）から支給されますが、申請は2003年4月1日から提出できますが、承認は7月1日からです。
5. マッチング・グラント（MG）は、海外での人道的プログラムを実施するために、プロジェクト実施国とプロジェクト支援国のロータリークラブが協力して行おうとするものである。プロジェクト支援国の負担金にDDFを使用する場合は、1対1のマッチング・グラントとなり、負担金が現金の場合は0.5対1の割合

となります。

6. 各クラブからの申請にあたっては、地区の世界社会奉仕（WCS）委員会とご相談の上、申請手続きを行ってください。
7. 今までの地区社会援助プログラム（CAP）のように、クラブが携わりたい地域社会への全ての奉仕活動に、この地区補助金が活用できます。



米山学友委員会

委員長 見延庄三郎
(小樽南RC)

昨年7月米山学友会の支援組織として新設された当委員会活動もまる1年経過した。此の間当初計画はすべて実施し、陳会長以下各役員 노력により、2年間休眠していた学友会活動も復活し、今後の発展への種を播く事が出来た事は、私達バックアップ部門を担当した委員共々共通の喜びであった。

「今年度の活動方針」

- ① 基本方針
学友の喜びを我々学友委員の喜びとして、初年度事業の深度を深める（充実を図る）
- ② 活動計画（事業内容はほぼ前年度内容を踏襲し、中身をもっと充実させたい。）
 - (1) 学友会名簿の補正及び作成
 - ①会則による学友会（北海道）名簿の補正。
(北海道在住者のみ)
 - ②世話クラブ毎の米山奨学生OB名簿の作成。（帰国者、本州移住者も含む全員名簿）
 - (2) 学友会定時総会・家族懇親会等学友会活動への積極支援。
 - (3) ロータリー活動への参加推進
ライフセミナー・地区大会行事・米山奨学委員会や新世代委員会関係事業(学友会会員の積極参加推進)
 - (4) 学友会だより（会報）発行支援
 - (5) 学友会への入会と会費納入の促進
前年度は会費納入に迄手も頭も回らなかったが今年度は自主的資金作りの為行う。
会則第7条により
正会員（元米山奨学生）は年額2千円
賛助会員（ロータリアン）は年額5千円
 - (6) その他
米山学友役員と私達学友委員との合同役員会を開催

し、情報の交換、意見提言の中から新しい活動の方向を探る。



親睦活動委員会

委員長 灰野 篁
(札幌北RC)

1. 地区内外での各種（ゴルフ、囲碁、スキー、ヨット等）同好会等の情報を事前にキャッチし、地区内の会員に広く知らせるようにはしていくと共に新しい親睦活動も奨励していきます。

2. この同好会活動をR Iが、推奨するオフィシャルにしていくために委員会は努力します。

3. 新しく加わった「保健・医療」については、国際奉仕委員会ならびに関連委員会と連携をとりながら協議してまいります。

2003—04年度R I 予算について

国際ロータリー会長

ジョナサンB. マジリアベ

国際ロータリー理事会は、2003年5月の理事会で、2003-04年度のR Iの予算提案を検討し、R Iの現財政状況は非常事態ならびに不測の事態であることを宣言し、全理事の満場一致の可決投票により、2003-04財政年度には、運営積立金から米貨3,500,000ドルを上限とする支出を認可しました。その結果、理事会は、支出見積額が米貨74,642,600ドル、収入見積額が米貨71,362,100ドル、そして差額を運営積立金で賄う、2003-04年度のR I予算を採択しました。

2003年7月の会合で、理事会はこの2003—04年度のR I予算を確認しました。

R I細則17.050.4項に従い、この決定を皆さまにご報告いたします。

R I 会長候補者募集

各ロータリー・クラブは、2005-06年度国際ロータリー会長指名委員会で審査される候補者を1名推薦することができます。委員会は9月8日に開かれ、会長職を務めるに最もふさわしいロータリアンを選考します。候補者は、R I理事として一任期を終えた人物に限られます。推薦は、正式な書式を用いて行わなければなりません。この書式は、R I国際事務局および地区ガバナーから入手できます。推薦書式のR I世界本部での受付締切日は、2003年9月1日です。

(Rotary WORLDより)

全国に千歳の観光をPR!

ロータリーの友委員会委員長

佐藤 公 (札幌北RC)

ガバナー・ロータリーの友委員会合同会議が7月1日(火)東京プリンスホテルで開催されました。会議には当地区佐藤秀雄ガバナー、佐藤公地区委員(札幌北RC)を始め34地区のガバナー、地区委員そして役員、ロータリーの友事務所職員など約100名が出席して談論風発の中で行われました。

会議の開始に当たってガバナー事務所から出席者全員に千歳の名産品「ハスカップゼリー」がプレゼントされ、出席者は突然の北の香り、味に大いに満足の様子でした。

この企画は雑誌「ロータリーの友」8月号で「わがまち わが地区」のコーナーを当地区が担当することとなり、インディアン水車など千歳の観光を紹介しました。そこで、全国から集まってくるガバナー、「友」委員の方に千歳を少しでも知っていただくチャンスと考え、特別にガバナーにお願いをし実現をしたもの。数分間ですが司会者からPRの時間もいただきました。何よりも企画は先もの勝ちというところ。

ロータリーの友委員会では雑誌「ロータリーの友」を通して、会員の皆様に「読んで良かった」から「ロータリアンになって良かった」となるよう委員会活動に風穴を開けていきたいと考えています。当委員会に積極的なご意見をお願いいたします。ガバナー事務所宛に文書、メールにてお送り下さい。

ブリスベンで確かめ合った 家族の絆(北海道ナイト I)

新世代委員会

委員長 奥 貫 一 之 (札幌東RC)

2003年6月1日～4日に行われたR I ブリスベン大会は、様々な思い出を残して、今年度にバトンタッチをされました。私達新世代委員会はかつての交換留学生（オーストラリアに住む娘や息子達）に声をかけて夕食会を企画しました。5月31日、水辺のレストランにはかつてのお父さん・お母さんに会いに10名の元交換留学生が集まり、佐藤ガバナー、小林直前ガバナー、伊藤P G、遠藤P Gもお越しいただき、家族の絆を確かめ合う感激の再会のひとときを持つ事が出来ました。

何枚かの写真でオムニバス風にご紹介申し上げます。

水の都ブリスベンのムードあふるるレストランピア・ナインには40名程の方々が集まり、再会の感動を味わいました。日本語で堂々とスピーチをする留学生達の様子を見て伊藤P G、遠藤P Gも満足そうでした。留学生は右からフィアンセを連れて来たチャールス・チャン君（札幌南）、メーガン・チュウさん（札幌モニング）、ニコル・レイサムさん（札幌南）です。



一つのテーブルは札幌東クラブ勢がまとまりました。右側中央はフィオーナ・ニューマンさんとホストした星野・青木・奥貫家の皆さんが写ってます。左側にはステファニー・ポーマンさん、実に18年前に札幌で1年間過ごした留学生で、当時の話に花が咲き、ホストした名塩さん夫妻は予定を変更して急遽駆けつけて下さいました。



パネッサ・リーさん（札幌モーニング）は小児科医になっていますが、同じ医者仲間のトウアン氏と結婚し、2才のベンジャミン君を連れてニューカッスルから来てくれました。

大熊会員が来れなくなって淋しそうでしたが、当時のホストファミリーから写真や手紙をことづかり抱きしめていました。医者になる為の単位取得のため大学5年生の時3ヶ月間札幌東クラブの千葉会員の指導を受け、奥買家にホームステイしました。

日本からの交換留学生を受け入れ我娘の様に可愛がって下さったブルースご夫妻（左から2番目と5番目）に、佐藤ガバナーは丁重な御礼を申し上げて下さいました。ブルース氏はキャンベラRCの会長をされています。この写真は北海道ナイトⅡの時のスナップですが大勢のロータリアンが集まりバンドに合わせてダンスに熱中した方々も多く楽しいひとときでした。



メルボルンのフィオーナを3日後に訪ね、自宅でオーストラリア風のフルコース料理で歓待をしていただきました。後列左端がフィアンセのクリス、右端が妹のクレア。レディがイニシアティブを握る典型的なオーストラリア家庭とホストしたファミリー達は家族の絆を確かめ合う事に加え、オーストラリアの家庭をよく理解出来るひとときでした。

11年前に交通事故で逝去したアリスンキャッスルさんの墓参には伊藤PGご夫妻も行って下さり哀悼の意を表して下さいました。今尚続く家族同志の交流に泉下のアリスンも喜んでくれていると感じました。恵庭RCの皆様も昨年事故で亡くなったミーガンさんの墓参し悲しい再会をされております。



速報




(財)ロータリー米山記念奨学会

米山功労者表彰が新しくなります！

2003年度がスタートしました。新年度から特別寄付に対する表彰制度が、一部改定されます。米山功労者をもっと身近な目標としていただくために、現行の累計30万円毎の表彰を累計10万円毎の表彰に改定いたしました。

ぜひ、今回の改定について積極的にPRをしていただき、会員の皆様が米山功労者になられますようよろしくお願いいたします。

新表彰制度は・・・

- 準米山功労者（累計3万円）と米山ファンドフェロー（累計15万円）は廃止となります。
- 米山功労者の表彰は、現行の累計30万円毎から累計10万円毎に変わります。
- 新名称は第1回に達した方を「米山功労者」、第2回から第9回に達した方を「米山功労者（マルチプル）」、第10回以上の方を「米山功労者（メジャードナー）」とお呼びいたします。
- すでに米山功労者となられている方は、自動的に新制度の10万円刻みの表彰回数に変更となります。10万円以上のご寄付されている方はすべて米山功労者となります。
〔例〕累計30万円達成者
現在： 「第1回米山功労者」  改定後： 「第3回米山功労者（マルチプル）」
- 表彰品は米山功労者になれる毎に感謝状をお贈りします。（第1回には感謝状を入れるケースが付きます）
現在の表彰品である盾（メダル付き）およびピン（男性：ネクタイピン、女性：ブローチ）は現行と同様に30万円毎にそれぞれ贈呈いたします。（詳細は次ページをご覧ください。）
- 米山功労法人、特別米山功労法人および米山功労クラブに対しての表彰は変更ありません。
- 新しい感謝状は7月以降に功労者になられた時点でお贈りします。遑ってはお送りいたしませんので、お申し出いただければお贈りいたします。

問い合わせ先 財団法人 ロータリー米山記念奨学会
TEL：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281
担当：志村・大庭

(財)ロータリー米山記念奨学会
米山功労者表彰制度

2003年7月1日施行

寄付累計額	表彰名称(呼称)	表彰品
10万円	第1回 米山功労者	感謝状(ケース付)
20万円	第2回 (マルチプル)	感謝状
30万円	第3回 ()	感謝状および盾(メダル付)
40万円	第4回 ()	感謝状
50万円	第5回 ()	感謝状
60万円	第6回 ()	感謝状およびピン(銀製石なし)
70万円	第7回 ()	感謝状
80万円	第8回 ()	感謝状
90万円	第9回 ()	感謝状およびピン(銀製サファイア)
100万円	第10回 (メジャードナー)	感謝状
110万円	第11回 ()	感謝状
120万円	第12回 ()	感謝状およびピン(銀製ルビー)
130万円	第13回 ()	感謝状
140万円	第14回 ()	感謝状
150万円	第15回 ()	感謝状およびピン(銀製エメラルド)
160万円	第16回 ()	感謝状
170万円	第17回 ()	感謝状
180万円	第18回 ()	感謝状およびピン(銀製ダイヤモンド)
190万円	第19回 ()	感謝状
200万円	第20回 ()	感謝状
210万円	第21回 ()	感謝状およびピン(18金製サファイア)
220万円	第22回 ()	感謝状
230万円	第23回 ()	感謝状
240万円	第24回 ()	感謝状およびピン(18金製ルビー)
250万円	第25回 ()	感謝状
260万円	第26回 ()	感謝状
270万円	第27回 ()	感謝状およびピン(18金製エメラルド)
280万円	第28回 ()	感謝状
290万円	第29回 ()	感謝状
300万円	第30回 ()	感謝状およびピン(18金製ダイヤモンド)
↓	()	感謝状
↓	()	感謝状
400万円	()	感謝状およびクリスタルの盾
↓	()	感謝状
↓	()	感謝状
500万円	()	感謝状およびクリスタルの盾
↓	()	感謝状
1,000万円	()	感謝状およびクリスタルの盾

※ 300万円以降は10万円毎に感謝状をお贈りします。なお、100万円達成毎にクリスタルの盾をお贈りいたします。

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 41】

2003年7月11日発行

1. 理事会・評議員会報告

～理事のガバナンスへの期待高まる～

2002-03年度第2回理事会・評議員会が、去る6月24日東京・新高輪プリンスホテルで開かれました。全地区から118名の理事および評議員が出席して、2003年度の事業計画と収支予算および奨学生募集人員と募集要項などを審議決定しました。

1. 予算

寄付金収入は16億円、奨学金支出は17億2千5百万円です。奨学金を含む事業費は約20億円（支出の83%）で、不足分は奨学資金特別積立金で補います（取崩予算3億6千万円、予算執行後特別積立金は28億5千万円となる）。管理費9,845万円（支出の4%）は利息収入で賄います。2003-04年度は奨学生採用数維持のため寄付金収入を上回る奨学金を支給します。

2. 奨学生採用数

地区別米山（YU・YM・YD）奨学生採用数は、ロータリーの相互扶助の精神によって「寄付額」と「学生数（有資格者数）」それぞれの割当枠を設けています。前年度までこの比率は寄付枠60%：学生枠40%でしたが、地区の寄付増進意欲と成果に応えるため、2004学年度採用から寄付による割当枠を70%に増やしました。

3. 表彰制度改定

2003年7月から特別寄付に対する表彰制度が改定されます。従来は累計額30万円毎だった表彰を累計10万円毎といたします。新名称は第1回に達した方を「米山功労者」、第2～9回に達した方を「米山功労者（マルチプル）」、第10回以上の方を「米山功労者（メジャードナー）」とお呼びします。表彰品及び法人・クラブに対する表彰は変更あり

ません。

<討議のハイライト>

□奨学生の割当数を決める基準として寄付額に重きを置いたことにより、奨学生の採用数が減った地区からは不満の声がありました。しかし、寄付金減少の現状を打開する方策として止むを得ないとする意見が多くを占めました。

□奨学金の支給額と支給人数が多すぎるのではないかという指摘がありました。これに対しては、現在の日本の経済・社会・国際的立場を十分認識して、全体的かつ長期的な視点から再検討すべきであるとの意見が述べられました。島津議長は、現在進行中の第2期基礎調査の結果を参考にして奨学事業の改革の中でこれらの問題に取り組むと答えました。

<アクションプラン>

理事・評議員の意見・提言と調査結果に従って、奨学会の各専門委員会は次期中期計画と実行計画案づくりに着手しました。

(事務局長 宮崎 幸雄)

2. 寄付金速報

～2002-03年度の寄付結果発表、

1年間ありがとうございました！～

2002-03年度の寄付金は約15億9千7百万円。前年度比-6.1%（普通寄付金-3.6%、特別寄付金-7.0%）で、約1億3百万円の減少です。例年に続き第2590地区が一人当たり平均寄付額トップの座を守りました。かかる経済状況下ですが、会員皆様のご理解とご協力をもって2004学年度も奨学生1,000名を支援します。今年度もよろしく願い申し上げます。

3. ガバナー・エレクト研修会報告

～日本独特の多地区連合プロジェクト

である米山奨学事業へ関心と理解を

(島津理事長)～

6月24日の理事会・評議員会終了後、2003-04年度ガバナー・エレクトを対象とした第2回研修会が開催されました。ガバナーと地区米山奨学委員会の連携による組織づくりの重要性と、寄付金低迷によって奨学生数1,000名維持が困難になりつつある現状をどのように打開していくかに重点を置いて研修会は進められました。参加者からは「公式訪問で米山奨学事業について力を入れてスピーチする自信があった」「意見交換で他地区の実状が分かり、米山奨学事業推進の指標を作るのに参考となった」などの感想がありました。

昨年8月・6月にガバナー・エレクト研修会を開催していますが、6月では時期的に遅いとの意見が多数ありました。今後、開催時期については再検討する予定です。

4. 米山奨学委員長セミナー報告

去る6月25日、東京・高輪プリンスホテルにて2003-04年度の地区米山奨学委員長セミナーが開催されました。パネルディスカッションでは、■個人寄付額全国トップを維持する2590地区 ■学友会の自主性を育成した2780地区 ■訪問や懇談会実施によって大学との新たな関係を構築する2650地区 ■カウンセラー研修会実施の意義を調査した2700地区、などの実例が各委員長によって報告され、その後のグループディスカッションでも活発な意見交換が行われました。

5. 台湾学友会理事長が台北東海R Cの会長に就任

台湾学友会の現理事長 許 邦福(シェバンフ)氏(1970～73京都大学、華城電機会社社長)が、2003-2004年度台北東海ロータリー・クラブの会長に就任しました。同クラブの初代会長は、同じく台湾学友会元理事長の 徐 重仁(ジョジュウニン)氏です。許氏の更なる活躍を祈念いたします。

祝

新入会員のご紹介

江別R C



金田 一夫 会員
7月3日入会

岩見沢東R C



林崎 弘吉 会員
7月8日入会

千歳R C



溝田 幸和 会員
7月3日入会

千歳R C



小林 靖弘 会員
7月10日入会

文庫通信(190号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- ◎ 「21世紀における日本の課題」 吉田學 2003 10p (D.2690地区大会)
 - ◎ 「日本・最良の選択」 俵孝太郎 2003 17p (D.2690地区大会)
 - ◎ 「地方都市の論理と主張」 大原謙一郎 2003 19p (D.2690地区大会)
 - ◎ 「現代日本の課題とその前途」 中曽根康弘 2003 9p (D.2580地区大会)
 - ◎ 「怪しげな時代を迎えて」 渡部昇一 2003 8p (D.2770地区大会)
 - ◎ 「どうなる日本の政治と経済」 森田実 2003 6p (D.2760地区大会)
 - ◎ 「行政とボランティア」 田中康夫 2003 6p (D.2600地区大会)
 - ◎ 「新しい時代の潮流」 宮崎緑 2003 14p (D.2740地区大会)
 - ◎ 「アメリカとアメリカ人」 大園純也 2003 6p (D.2740地区大会)
 - ◎ 「心の健康は素敵なコミュニケーションから」 福島敦子 2003 18p (D.2540地区大会)
- [上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc会館 7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

訃報 心よりご冥福をお祈りします



永井 高明 会員 (苫小牧RC)
2003年6月30日ご逝去 (享年69才)
昭和49年8月30日入会
1994~95年度会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

* 掲示板 *

・三石RC会長の交代

健康上の都合により石垣文雄氏から小島安彦氏に交代となりました。

・洞爺湖RC事務所変更

〒049-5605 虻田郡虻田町字高砂町159-2 株式会社エムズ内
TEL 0142-74-3333 FAX 0142-74-3334

上記の通り変更となりましたのでご連絡致します。

・新札幌RC創立20周年記念式典について

ガバナー月信第1号「地区カレンダー」でご案内しました新札幌RC創立20周年記念式典が2004年6月23日(水)から6月19日(土)に変更となりました。

・地区組織図の変更について

- ・地区青少年交換委員会委員として清水慧子会員(長沼RC)が選任されました。
- ・地区財団増進委員会委員の佐藤宏会員(札幌北RC)が委員をご辞退されております。

・例会の変更について

滝川ロータリークラブ

8月2日(土) 移動例会「風船アート祭り in Takikawa」
14:30~15:20
…がんばる館2F
(栄町ベルロード通り)

7日(木) 2日(土)の振替休会

14日(木) 休会

21日(木) 創立記念夜間例会

18:00~三浦華園
9月11日(木) 移動例会「リサイクリン見学」
12:30~14:00

江部乙公民館集合

17日(水) 砂川合同例会

18:00~
砂川パークホテル
(ガバナー公式訪問)

赤平ロータリークラブ

8月12日(火) 休会

19日(火) 夜間例会(婦人部との集い) 18:30 浦島

芦別ロータリークラブ

8月8日(金) 納涼例会(夜間例会)
18:00~ 鮎広

15日(金) 休会
(定款第5条第1節C項適用)

22日(金) 物故会員追悼例会
12:15~ 永昌寺

当別ロータリークラブ

8月12日(火) 休会
(定款第5条第1節による)

苫小牧東ロータリークラブ

8月14日(木) 休会
(定款第5条第1節による)

21日(木) 夜間例会 18:00~20:00

場所 苫小牧ビール園

倶知安ロータリークラブ

8月13日(水) 8月3日の振替休会

20日(水) 家族親睦パークゴルフ

14:45集合

パークゴルフ場

家族例会・表彰式

18:00点鐘 雪ん子館

27日(水) 体験例会(ラフティング)

12:00点鐘 第一会館

羽幌ロータリークラブ

8月16日(土) 羽幌RC杯少年野球大会

8:15例会点鐘

(スポーツ公園野球場)

17:00~交流会

(サンセットビーチ)

17日(日) 羽幌RC杯少年野球大会

閉会式 15:00予定

(スポーツ公園野球場)

余市ロータリークラブ

8月13日(水) 休会

20日(水) 早朝例会 6:00~

林病院

(Tel 0135-22-5188)

27日(水) 物故者追悼法要

12:30~ 報恩寺

(Tel 0135-22-3096)

江別ロータリークラブ

8月7日(木) 納涼例会

18:00~

浄土真宗本願寺派真願寺

駐車場

14日(木) 休会

(定款細則第5条第1節

(c)に基づく)

室蘭東ロータリークラブ

8月13日(水) 休会

地区カレンダー（8月・9月）

8 月 会員増強および拡大月間	
1(金)	
2(土)	社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同意見交換会（滝川）
3(日)	ロータリー財団地域セミナー（東京） インターアクト国内研修（茨城）～5日
4(月)	
5(火)	公式訪問(札幌西RC)
6(水)	公式訪問(札幌西北RC、札幌RC)
7(木)	
8(金)	
9(土)	社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同意見交換会（苫小牧） 公式訪問(札幌あけぼのRC、札幌手稲RC)
10(日)	
11(月)	
12(火)	
13(水)	
14(木)	
15(金)	
16(土)	
17(日)	
18(月)	
19(火)	
20(水)	
21(木)	公式訪問(札幌東RC、新札幌RC、札幌セントラルRC)
22(金)	公式訪問(札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌清田RC、札幌大通公園RC)
23(土)	社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同意見交換会（小樽）
24(日)	
25(月)	
26(火)	
27(水)	
28(木)	
29(金)	
30(土)	社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同意見交換会（札幌） (財)ロータリー-米山記念奨学会理事会・評議員会（東京）・地区野球大会
31(日)	地区野球大会

9 月 新世代のための月間	
1(月)	公式訪問(札幌南RC)
2(火)	
3(水)	公式訪問(羽幌RC、小平RC、留萌RC)
4(木)	
5(金)	
6(土)	ローターアクト地区研修セミナー
7(日)	ローターアクト地区研修セミナー
8(月)	
9(火)	公式訪問(深川IRC、妹背牛RC)
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	ライラセミナー(ジュニア)
14(日)	ライラセミナー(ジュニア) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー
15(月)	敬老の日
16(火)	
17(水)	公式訪問(砂川IRC、滝川IRC)
18(木)	
19(金)	公式訪問(赤平RC、芦別RC)
20(土)	公式訪問(美唄RC、岩見沢RC、岩見沢東RC)
21(日)	函館北RC創立40周年記念式典
22(月)	
23(火)	秋分の日
24(水)	公式訪問(恵庭RC、北広島RC、長沼RC、由仁RC)
25(木)	第7回ロータリー日韓親善会議（浦安市） 公式訪問(江別RC、江別西RC、当別RC)
26(金)	
27(土)	ライラセミナー(シニア)
28(日)	ライラセミナー(シニア)
29(月)	
30(火)	